

令和6年度日本NGO連携無償資金協力
「イルビッド県における脆弱層に向けた初等・中等教育の就学・学習支援体制強化事業」
(第3年次) (特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン)
贈与契約書への署名

2024年6月4日、奥山爾朗大使と池之谷理恵ワールド・ビジョン・ジャパン・プロジェクト・マネジャーは在ヨルダン日本大使館において、日本政府のNGO連携無償資金協力の枠組みにより実施される「イルビッド県における脆弱層に向けた初等・中等教育の就学・学習支援体制強化事業」のための709,227米ドルの贈与契約に署名しました。本事業は、3か年事業の第3年次事業に当たり、日本政府は、第1年次事業に対して、764,211米ドルの支援を、第2年次事業に対して729,903米ドルの支援を実施しています。

本事業は、イルビッド県の公立学校において、補習授業（英語・ライフスキル授業）の提供や、バリアフリーの学校施設・教材の整備、教員・学校スタッフのインクルーシブ教育に係る能力強化等を通じ、不就学児童や特別なニーズを有する児童等が公立学校での就学を再開・継続できる環境を整備することによって、ヨルダンにおける社会的格差の是正や脆弱層のエンパワメントに貢献することを目的とし、ヨルダンでの活動経験の豊富な日本のNGOであるワールド・ビジョン・ジャパンが実施します。

ワールド・ビジョン・ジャパンは、ヨルダンにおいて、2014年から2021年にかけてイルビッド県及びザルカ県で教育支援事業を実施した他、2021年から2022年には、アズラック難民キャンプにおいても、同キャンプ内で適切な新型コロナウイルス感染対策がとられるよう、衛生・清掃用品の配布や水衛生設備の設置・修繕等の支援も実施しました。

